



外国のメニューを取り入れた献立 ～ ウズベキスタンから ～

前途洋々

給食では、時々、世界や日本各地の名物が反映された献立が出されます。24日（火）は、ウズベキスタンの「アッチクチュチュク」という一品が出されました。これは、ウズベキスタンのトマトサラダで、塩とバジルで味付けされています。少し調べてみたところ、ウズベキスタンではとてもポピュラーなサラダで、この名前は、「辛くて酸っぱい」という意味なのだそうです。材料はどこでも手に入るものですが、こうやって、外国のものとして調理されるととても新鮮です。ちょっとした旅行気分も味わえますし、異国に思いを馳せることもできそうです。とてもさっぱりしたサラダでおいしくいただきました。（他のおかずは、タイピーエンと春巻き。写真の黒丸部分がサラダです）



5年生「高齢者疑似体験」 今回も市社会福祉協議会にお世話になりました

5年生は「福祉」について重点的に学ぶ機会が多いのですが、今回は、前回の「認知症サポーター養成講座」に続き、「高齢者疑似体験」を実施し、市社会福祉協議会の坂本さん、沖村さんに講師として来ていただきました。あえて、「見えづらい、重い、曲がりづらい、聞こえづらい」という状況をイヤーマフやベストなどを使って作り、声をかけながら、段差等に気をつけて誘導したり、質問をし合ったりしました。講師の方から、「単に大変だった、重かったということではなく、どのようにお手伝いができるか、協力ができるかということを考えてもらえたら・・・。」というお話がありました。「皆にとって住みよい社会にするには」という視点から学びを重ね、今後の生活や生き方によりよい形で反映させてくれたらと思います。（写真左：装具を身につける子供たち。右：声をかけながら友だちを誘導中）



「みこしづくり」はどこまで進んでいるでしょうか？ みんなで制作4コマ目・・・ずいぶん形になってきました！

子供のイマジネーションとそれを形にしようとする思い・・・そういえば自分にもあったなあ、と子供たちに話を聞かすたびに思い出します。ありったけの材料で、思い描いたものを再現しようとする熱意は、ひょっとしたらこれからの生活を工夫していく力の根源になるかもしれません。さて、制作は早くも4コマ目に突入しましたが、かなり形になっています。1・6年制作のみこしはほぼ完成。3年は、段ボールに夜空をイメージした紺の台紙を貼り、鮮やかな花火を演出。2・5年は、上部にたくさんのデコポン、下部に海の生き物がにぎやかに配置されていました。4年はまた次回紹介しますね。



1・6年



3年



2・5年